

## I・TOP横浜ラボ「鉄道駅の安全・安心、快適性、魅力の向上」について 相模鉄道株式会社で実証実験を行う提案を採択しました

横浜市は「I・TOP横浜」を通じて、IoTやAIなどのテクノロジーを活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

この度、横浜市内の鉄道事業者である相模鉄道株式会社（相鉄グループ）の駅を主な実証フィールドとし、新たな製品・サービスに関する実証実験を募集し、施設管理にかかるスタッフの作業効率化、事故発生などの異常時の迅速かつ的確な情報発信手法の3件の提案を採択しました。


今後、実施時期や場所について企業と調整し、順次実施していきます。




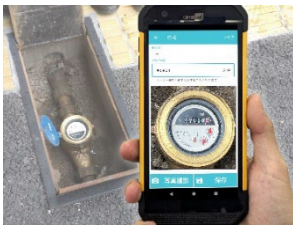



### 1 募集内容

件名	「鉄道駅の安全・安心、快適性、魅力の向上」に関する実証プロジェクト
提案内容	鉄道利用の快適性と社会インフラとしての鉄道駅の提供価値の向上に資するIoT製品・サービス
提案募集時期	令和5年3月6日（月）～令和5年3月31日（金）
実証実験実施時期	順次実施（令和5年12月までを予定）
実証実験場所	相模鉄道（株）が管理・運営する鉄道関連施設

### 2 採択提案（全3件）※50音順

企業名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）
株式会社アクセルラボ  	<b>【アクセルラボ IoT エンジン】</b> アクセルラボの「alie+（ありーぷらす）」はIoT機器の制御や様々な情報と連携を可能にするシステムで、あらゆる空間でのIoT活用を可能にします。 駅構内にIoTセンサーを設置し、トイレの混雑状況や出入口のシャッターの開閉状況を把握することによる、施設管理におけるスタッフの作業効率化を検証します。 実施時期（予定） トイレ：10月中旬～、シャッター：11月中旬～



企業名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）
<p>株式会社ジェイエスピー</p> 	<p>【AI 検針による施設管理のスマート化】</p> <p>設備点検支援システム「moni-meter（もにめーたー）」を使用し、メーター値の AI 読取と画像の証跡により水道検針業務の課題である誤検針とその手戻り、集計作業の負担低減への効果を検証します。</p> <p>実施時期（予定）：10 月中旬～</p> 
<p>三菱電機株式会社</p> 	<p>【群集案内・誘導サービス】</p> <p>鉄道の運行状況や、駅利用者の身体的特性に応じた駅施設の情報を自走式サインージ上に提示することで、鉄道事業者の作業効率化や、駅施設の利用者への誘導効果を検証します。</p> <p>実施時期：相模鉄道（株）と調整中</p> <p>自走式サインージ 提示情報の例</p>  

【参考】

**I・TOP 横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは**

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



**I・TOP 横浜**  
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

I・TOP 横浜ウェブサイト  
<https://itop.yokohama/>

お問合せ先

【I・TOP 横浜に関すること】経済局産業連携推進課長 岩船 広 Tel 045-671-2574  
【実証実験場となる相鉄ホールディングス（株）、相模鉄道（株）に関すること】  
相鉄お客様センター Tel 045-319-2111